



淀江の宿今津田中家がある淀江町が輩出した企業家 吹野博志さんは、デルコンピュータの日本法人の元会長・アメリカ法人の副社長などを歴任、その他様々な企業の経営にも携わり、ベンチャー企業の育成に力を入れるかたわら、多摩大学ルネッサンスセンター客員教授、一橋大学非常勤講師を務め、後進の指導にも情熱を傾けてこられました。デル入社前は通算13年にわたってアメリカに駐在。ヨーロッパ、インド、中国、アジア諸国、中南米とのビジネスも経験豊富で、グローバルビジネスのベテランです。

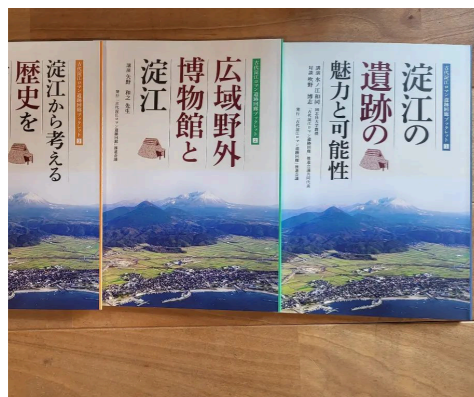
淀江出身のグローバルな紳士



よどえのやど
淀江の宿
今津田中家
瓦版

第5号

2023.08 発行



また、東京圏在住の鳥取県西部出身者の名だたる方々を会員とし、故郷の発展に寄与することを目的として活動されている「クラブ・セントー」の共同代表、淀江の歴史と自然の魅力や「古代淀江口マン遺跡回廊」として一体のものとしてとらえ、その保存・活用に取り組み、次世代へ伝えていく活動をされている「古代淀江口マン遺跡回廊 推進会議」の共同代表も務めるなど、故郷の先を見据えた発展に寄与して下さっています。

吹野さんの寄付金を基に平成13年設立された「淀江町青少年ゆめ基金」では、淀江町出身の若者を対象に、自らの夢を実現するために海外に羽ばたく留学の学費、渡航費などの支援が行われ、また青少年が夢を描き、実現することの大切さを理解する啓発の一環として毎年「ゆめ講演会」が開催されています。

ふるさとをこよなく愛する様々な活動

淀江の大自然が育んだ吹野少年の原点

1942年に淀江町で生まれ、3歳半で終戦を迎えた吹野少年は、小学校に入ると学校の仲間と遊ぶことに夢中になります。基本的には野外で歩いて1時間くらいで行ける海、山、川、田んぼが遊びの舞台でした。大自然の恵み、大山の伏流水、川、海、空気を100%いただいて育ってきた昭和20年代の経験が吹野さんにとつての原点です。

その経験を基に、幸せとは何か、理想郷とは何かを考え、「大山・出雲e共和国」という本を鳥取県西部在住の2名の方と共同で、令和5年5月に出版されました。中央集権律令国家成立前の弥生時代を理想とし自然と共生する理想社会を大山・出雲地域に作ることを目指す構想で、現代社会の利便性や医療技術、電力エネルギー技術(100%再生可能)、ICT、インターネット、AI技術などの革新技術も生かし、「遊、医、食、住(エネルギー)」を基本要素とした世界の理想郷を創る取組がスタートしました。



2面に続く

連載「淀江プロジェクト」物語 [第四話]

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。

第4話：大阪で地震、そして台風直撃...

関西で災害が相次いで発生!

相続税手続きが終わる少し前の2018年6月18日大阪北部を震源とするマグニチュード6.1最大震度6弱の大阪北部地震が発生した。その当時、洋子の自宅と事務所は、震度5弱を記録。地震発生当日は大阪府を中心とした関西地方の多くの交通機関が麻痺し多くの帰宅困難者が発生。新淀川大橋は徒歩で帰宅する人で埋まった。

またその約2か月半後の9月4日、台風21号が関西を直撃、記録的な暴風となった。その日洋子は尼崎市の会社を訪問していたが、様々なものが空を飛び粉々に割れた。そして、大規模な停電が起こる。台風の凄まじさを目の当たりにしながら、通常15分の尼崎、自宅間の道のりを車で3時間半かけ帰宅。自宅周辺も街灯も消えて真っ暗、自宅も停電したままで、娘、萌々子が暗がりの中で、懐中電灯をかざして、洋子を迎え入れてくれた。



看板が外れ、窓ガラスを直撃



街灯も消えて真っ暗な自宅周辺

停電になると水も出ない!

事務所は幸いなことに電気がついており、停電した形跡はなかった。翌日の昼頃には自宅の電気もつき、洋子のライフラインは早くに復旧したが、あちこちの電線が切れ、周辺のマンションやお店では、1週間以上停電が続いたところもあった。ウォリスのスタッフのマンションも電気ポンプで水を吸い上げているため、断水したままで、日々の生活にとっても苦労していた。そんな彼女のお提案により、Twitterで事務所の開放を何度かお知らせすることとなった。

この経験が洋子の意識を変えた!

「都会だと、ライフラインが止まったときに、本当に大変だなあ。お店が停電して休業していると、食べ物も買えない。」淀江の実家も停電したら大変だが、海も山も近く、田畑もあって、食べ物には多分困らない、薪もお風呂は焚ける、ご飯も作れる。井戸水も手動ポンプにすれば汲み上げられるし、海や川から水もすぐに汲んでくることができる。 TENTを張る場所もたくさんある。公共交通手段が止まっても生活はできる。これからの大きな災害が起きたとき大阪で何かあったときの避難場所として、もししたら淀江が有効活用できるかも。と考えるようになった。

作者・田中洋子

株式会社ウオリス代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人を手を借りてリノベしてUTターンし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語

[第四話]



事務所に集まった、スマホを充電しネットなどを利用する近隣の方々

「台風21号の影響で、停電などでお困りの方。ウォリスの事務所を無料開放しています。JR塚本駅近くです。機器の充電や、インターネットの利用、トイレの利用などお気軽にどうぞ。電源・Wi-Fi・水道・御手洗の利用が可能です。詳しくはこちらの投稿をご覧ください。」



ホームページ



お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家
〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1
TEL : 0859-30-3889
www.imazutanakaya.com

今後はLINEを始め各種SNSにて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。



LINE公式アカウント
お店のポイントが貯まる!





ハンガリー料理OTTOのフルコースを堪能!

7月6日(木)の日替わり店長カフェは、ハンガリー料理OTTOのフルコースランチでした。「食べてみてほしい(ください)」と笑顔で流ちょうな倉吉弁を話す店主OTTOくんは、大入学を機に鳥取県に移住。ハンガリーに住んでいたときのマンションのご近所さんが鳥取県中部にある三朝町の方で、日本や鳥取の話聞いて、短期大学がある倉吉への移住を決めたそうです。日本語は独学で勉強されたそうです。やり取りが普通にでき、また決算申告などもご自身で行われている。

という猛者です。OTTOくんのお母さんシャチさん特製の「グヤーシユ」は、ハンガリー発祥の定番家庭料理で、「グヤーシユ(牛飼)」という通り、牛飼いが外で農作業をしながら作っていたお肉の煮込みスープで、鳥取の猪と鹿をじっくり煮込んであります。その他、ポリウームたっぷり柔らかい鴨のステーキ、パラチンタ(ハンガリー風クレープ)など、皆さんにとっても喜んでいただきました。

今回のハンガリー料理OTTOの日替わり店長カフェは、12月頃の予定です。ぜひお楽しみください。

日替わり店長カフェ紹介

すまいるびとsanin

数量限定



すまいるびとsaninのランチは「おむすびとみそ汁」。田中家さんのはでかけ米に、すまいるびとsanin仕込みのお味噌など、素材にこだわって、心を込めてお作りします。ぜひご賞味ください。

カフェメニューは、オリジナル野草茶&甘酒ボウルとよもぎパウンドケーキ。夏の免疫力アップ、ドリンクメニューとして梅酵素ジュース、パーモンド酢ジュースも初登場!

8/9(水)11時~15時はランチ&カフェ、8/20(日)14時~17時はカフェのみの営業です。

- おにぎり&お味噌汁セット ¥1,000
- 甘酒ボウル&野草茶セット ¥1,000
- よもぎパウンドケーキ&野草茶セット ¥1,000
- ドリンクメニューはいずれも ¥500

※いずれのメニューにもドライ野草の足浴体験付き♡



淀江の宿今津田中家

数量限定



11時~17時まで、地元野菜たっぷりのキーマカレーやスープ・自家製黒豆のおからサラダ、自家製黒豆や梅のスイーツ&ドリンク、珈琲・ラテなどを提供します。

- 淀江の宿今津田中家 自家製ランチ ¥1,100
※自家菜園で採れたものと淀江漁港で獲れたものを使ったランチ
- キーマカレー・スープセット ¥1,100
- ラテ (HOT・ICE) ¥550
- 黒豆スイーツ (アイスクリーム・豆花等) ¥330~
- 梅ドリンク ¥440~

「淀江の宿今津田中家」の宿で提供している地元食材を使った朝食・江戸時代の朝食作り体験・BBQは4名以上でご予約を承ります(7時~21時)。詳細はWEBサイト等でご確認ください。

8月の日替わり店長カフェスケジュール

8/5 (土)	ランチ ティー 11:00 - 17:00	淀江の宿今津田中家	8/20(日)	ティータイム 14:00 - 17:00	すまいるびとsanin
8/9 (水)	ランチ ティー 11:00 - 15:00	すまいるびとsanin	8/27(日)	イブニング 18:00 - 21:00	ウォリス ライフキャリア支援 <small>予約制</small>



右から足立さん・吹野さんと Bisui Daisen のメンバーとサイクリング



如水会館の菊の間にて「文化交流」など 当宿で淀江の未来を語り合うについて意見交換

吹野さんとの思いがけない出会い

吹野博志さんと淀江の宿今津田中家のオーナー田中洋子の出会いは、2022年6月7日。インタホーンが鳴り、洋子が玄関に入るた、ダンディーな紳士がお二人、にこやかに立っておられました。もうお一人は、米子日吉津商工会の元会長で淀江在住の経営者 足立英市さんでした。

「東京から来て、大山町での用事を終えて、淀江にゲストハウスがあるって聞いて寄ってみました。もしよかつたら、ちよつと宿の中を

見せてもらえませんか?」お二人が次の予定があるということで、短い時間でしたが、「古代淀江口マン遺跡回廊」推進会議の活動のお話などをお聞きし、私も宿を立ち上げるまでのストーリーなどをお話ししながら宿の中をご案内し、2022年4月15日に設立した Bisui Daisen が5月末に実施した外国人のサイクリングモニターツアーのアンケートをまとめた資料をお渡ししました。その後、Facebook などのメッセンジャーやメールなどでやり取りが始まりました。

吹野さんとの出会いから繋がる淀江の未来

2022年10月、吹野さんと Bisui Daisen のメンバーと一緒に、eバイク(電動自転車)で、淀江周辺のサイクリングをしました。上淀廃寺などの古代からの史跡、稲穂で黄金色に染まる田んぼ、天の真名井(湧水)、山頂に茶畑の広がる壺瓶山、参道に踏切の通る日吉神社、吹野さんと小学生の頃に住まれていた場所とそこから学校に通われていた線路の思い出。あちこちで吹野少年の原点にも触れることができたサイクリングでした。

その後、吹野さんがこちらにいられた時に何度か泊まっていただいたのですが、その度に地域の未来について熱く語り合っています。

経済産業省の元審議官の方や大学時代の同級生の方など別の方も連れて来てくださって一緒に泊まっていたいたり、一緒に南部町の生物多様性の視察に出かけたり、植田正治写真美術館と一緒に行って植田正治さんの息子さんにご案内をいただいたり、東京のクラブ・セブンで私たちが活動の発表させていただく機会をいただいたり、東京で国や財団の方も交えて一緒に淀江について意見交換をしたり、いろんな形でいつも謙虚で素敵なダンディーな吹野さんと接して、淀江の価値を考え、未来のために私たちがここでこれからできることは何なのか、これだけ考える機会をたくさん与えていただいています。

Bisui Daisen (美水大山 [ビスイダイセン]) とは

一般社団法人 Bisui Daisen

2022年4月15日設立。非営利型の一般社団法人。
代表理事：レジリエンス 大原 徹氏 (HiddenWest)
専務理事：株式会社ウォリス 田中 洋子 (淀江の宿 今津田中家)

Bisui Daisen のミッション

「美水大山地域(鳥取県米子市淀江町・西伯郡大山町、及びその周辺地域)」をユニーク(唯一無二)な体験型・交流型のニューツーリズムの場と位置付け、訪れていただく、定期的に帰りたい、暮らしたくなる、魅力的な場を参画者一人ひとりの強みや持ち分を活かした連携で共創していく



お得な特典たくさん! 淀江の宿今津田中家 会員募集

年会費
2,000円

会員特典

- 毎月1回 瓦版など印刷物の郵送
- 毎月1回 各種割引券 (飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加)
- お米1升(約1.5kg) プレゼント(ぎぬむすめ or もち米)

※11月以降 当宿にてお渡し

お申込み



※瓦版は淀江の宿今津田中家でも配布しております。また SNS などでも瓦版情報を随時提供しますので、SNS (4面参照) もご登録ください。